

堺の禅寺－臨済宗（南宗寺・大安寺）、曹洞宗（紅谷庵）、黄檗宗（法雲寺）

文責：堺ユネスコ協会 前田秀一

宗派	臨済宗		曹洞宗	黄檗宗
本尊	釈迦如来		釈迦如来	釈迦如来
開基	鎌倉時代(1191年) 栄西		鎌倉時代(1226年) 道元	江戸時代(1654年) 隠元(中国臨済宗明僧)
法嗣 (はっす)	<ul style="list-style-type: none"> ・師から弟子への悟りの伝達を重んじる(以心伝心) ・座禅(通路向)、公案(問答)など感覚的、身体的体験を通して仏性を伝承さ ・特に日本では、詩、絵画、建築などをはじめとした分野で悟りが表現される(「心を形に」) 		<ul style="list-style-type: none"> ・「修証一如」無限の修業こそ成仏である ・「則心是仏」主に座禅委より働きかける ・座禅壁向き、公案なし、警策なし(黙照禅) 	<ul style="list-style-type: none"> ・系統的には臨済禅。「臨済正宗」、「臨済宗黄檗派」を名乗った。 ・華厳、天台、浄土諸宗を反映した混淆禅
本山	<ul style="list-style-type: none"> ・1191年栄西宋から帰国後、京都での布教困難のため、⇒1195年聖福寺(博多) ⇒1200年鎌倉・壽福寺⇒建長寺、円覚寺、浄智寺、浄妙寺＝五山 ⇒1202年京都・建仁寺⇒南禅寺(別格)、天竜寺、相国寺、東福寺、万壽寺＝五山 		<ul style="list-style-type: none"> 永平寺(福井県)、總持寺(横浜) 1228年道元宋から帰国⇒1233年興聖寺(京都)⇒1244年大佛寺⇒1246年永平寺改名 	<ul style="list-style-type: none"> 黄檗山 萬福寺(宇治) ・1654年興副寺(長崎)⇒普門寺(高槻)⇒1679年萬福寺(宇治)
特長	時の武家政権に支持され、政治・文化に重んじられた 特に、室町幕府により保護・管理され、五山十刹(鎌倉、京都)が生まれた		曹洞宗は、地方武家、豪族、下級武士、一般民衆に広まった	寺内言葉、儀式作法、普茶料理は中国式 ・煎茶道の祖・売茶翁、書の達人ゆかりの寺
堺の系統	東福寺派	大徳寺派	天皇山 紅谷庵 (三國ヶ丘町)	大宝山 法雲寺 (美原)
禅寺	布金山 大安寺	龍興山 南宋寺		
開基	室町時代(1394年) 徳秀士蔭	室町時代(1557年) 大林宗套	・大永年間(1521～1527年)、堺大小路の豪商・紅屋喜平が宗庵を結び、連歌師・牡丹肖柏が池田より来て隠棲。	江戸時代(1672年) 慧極道明
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財 ・創建時は、堺の中心地に位置したが、大坂夏の陣(1615年)の大火で焼失し、1683年に現在地(南旅籠町)に移築した ・豪商・納屋助左衛門(呂宋助左衛門)邸宅を寄贈され、移築したという伝承がある ・室町時代の歌人・牡丹花肖柏供養塔、利休好みの名品「虹の手水鉢」、17世紀後半狩野派画師苦心の「枝添えの松」など障壁画がある。 ・柱に松永久秀刀傷跡「満足に災いあり」 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財 ・創建当初は宿院町付近にあったと伝わる、河内飯盛山城主・三好長慶が堺幕府(顕本寺)で自害した父・元長を弔った菩提寺 ・武野紹鷗は大林宗套に参禅し「茶禅一味」を学びわび茶を極めた。千宗易は第2世笑嶺宗訢に参禅し開眼して茶の湯を大成した ・境内に三千家供養塔があり、一門の聖地 ・大坂夏の陣後沢庵宗彭が現在地に再興 ・大坂夏の陣で逃げる、家康を後藤又兵衛兵衛が槍で突いた遺骸を隠した逸話がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・その後、荒廃し、浄土僧ら諸宗の徒来応 ・安政元年(1854)、信太村蔭涼寺・環溪密雲が来往し栄えたが、環溪が江戸・豪徳寺に転住して再び荒廃。 ・明治元年(1868)、環溪が山城宇治・興聖寺に昇住、本堂・庫裏など建立して再興、興聖寺末寺、高弟・眉柏祖禅住職とする ・明治5年(1872)11月、寺格を昇し、曹洞宗最高位の格位常恒会地となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・堺市指定有形文化財 ・中本山格の寺。山門、天王殿、本堂、開山堂ほか黄檗宗独特の中国様式の建物 ・檀越狭山藩主・北条家の位牌(北条早雲、北条氏盛、第5代藩主・北条氏朝)を祀る耀先殿があり、本堂裏手は北条家の墓所
禅寺	宿松山 海会寺	龍興山 天慶院		
開基	室町時代(1351年) 乾峯士曇	笑嶺宗訢に武野紹鷗門人尼僧が献上		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財 ・創建時は、開口神社の西門前にあったが大坂夏の陣(1615年)の大火で焼失し、南宗寺・沢庵宗彭の助力で現在地に再興 	<ul style="list-style-type: none"> ・千利休檀家寺、山上宗二の供養塔ある 		
		南宗寺 塔頭		
		龍興山 本源院		
		龍興山 徳泉庵		